

(株)宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

# コウカノカ

## MONTHLY NEWS LETTER Vol.66

コウカノカ

3

Vol.66

発行者：株式会社宏和  
所在地：〒577-0012 大阪府長田東1-7-22 TEL 06-6789-2313

(株)宏和

プラスチックを使わないクリアファイル

# ECOファイル

プラスチックによる海洋汚染問題への関心が高まる中、脱プラスチックの動きが世界で始まっています。その中で、今回はプラスチックを使わないクリアファイル（クリアホルダー）、『ECOファイル』をご紹介します。材質は紙ですので再生が可能です。



## ECOファイルの利点

- 環境への取り組みをアピールできる（廃プラスチック問題への取り組み）
- 紙製なのでファイルに直接メモが可能で便利
- 紙ならではの風合いを出せる
- 半透明・上質紙・マットコート紙・（カラー）クラフト紙など様々な用紙・色の選択が可能
- 書類を入れたままシュレッダーにかけられたり、紙ごみ（リサイクル）に出せるので分別の手間を省ける
- ノベルティ商品としても最適

紙ではなく、LIMEX（ライメックス：石灰石を主原料としたプラスチックの代替素材）を使ったものも制作可能です。

お気軽にお問い合わせください



株式会社 宏和

Kowa Corporation

東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339

<https://www.d-kowa.co.jp/>

<https://scanning.jp/>

オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状  
 冊子印刷 取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史  
 電子化業務 紙文書・紙図面スキャン（電子化）サービス、データエントリー（入力）、データコンバート  
 CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力（トレース・設計）、電子納品データ作成  
 コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作  
 その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキャン、WEB制作

最近、メディアでSDGs（持続可能な開発目標）を頻繁に見かけるようになりました。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。弊社も、経営理念の中に、「地球環境を意識しよう」という文言を入れていますので、具体的な行動レベルにまで落とし込んで、実際に行動していかなければならないと考えています。

代表取締役 日笠宏昭



# 大阪レトロ建築物巡り

北浜周辺

Part1



**大阪証券取引所**  
中央区北浜 1-8-16

1935年(昭和10)に建てられた(旧)大阪証券ビル市場館は建替えられ2004年(平成16)に超高層ビルに生まれ変わりました。旧ビルのシンボルであったドームの外観は、北浜の顔として継承され、ドーム内部の広間(アトリウム)と外観両袖が再現保存されています。正面には1878年(明治10)に大阪証券取引所を開設した五代友厚の像が立っています。



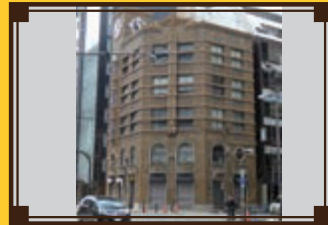
**ルポンドシエルビル  
(旧大林組本社ビル)**  
中央区北浜東 6-9

1926(昭和1)年に大林組の本社社屋として建てられた大型の近代建築。全面に茶色のスクラッチタイルを貼り、腰壁に竜山石を使用した、贅沢で重厚な外観です。今は高級フランス料理店ルポンドシエルがテナントとして入居しているほか、右側入口を入った3階には大林組の歴史資料館もあります。



**高麗橋野村ビルディング**  
中央区高麗橋 2-1-2

安井武雄の設計で1927(昭和2)年に竣工、当時としてはまだ珍しかった鉄骨鉄筋コンクリート構造です。各階の帯を巻いたような壁はよく見ると前に傾き、その庇も角がアールになっています。玄関には三日月の装飾、エントランスにはイスラム風の月と竹の装飾があり、東洋的な雰囲気感を漂わせています。



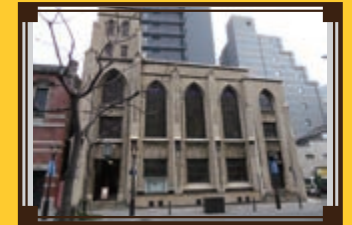
**生駒ビルディング**  
中央区平野町 2-2-12

明治3年創業の生駒時計店のビルとして1930(昭和5)年に竣工。大阪建築界の重鎮・宗兵衛の事務所による設計で、スクラッチタイル張りのアール・デコスタイルです。



**伏見ビル**  
中央区伏見町 2-2-3

1923年(大正12)、長田岩次郎の設計で「澤野ビル」として建てられ、当時としてはめずらしいホテルとして人目をひきました。シンプルなアールデコ風のデザインです。



**浪花教会**  
中央区高麗橋 2-6-2

1930(昭和5)年竣工。ゴシック様式の尖塔窓・黄色や緑色の色ガラスで飾られた外観と、清楚で美しい空間の礼拝堂・聖堂を特徴にもつ、昭和初期のレトロ建築。



**旧小西家住宅 (小西働助商店)**  
中央区道修町 1-6-90

薬問屋街の道修町に残る旧小西家住宅は、近代大阪の町家を大成した和風建築(国の重要文化財)。現在の建物は明治36年(1903)から3年かけてつくられたもの。現在もコニシ株式会社の関連会社が事務所として使っています。



**愛珠幼稚園**  
中央区今橋 3-1-11

愛珠幼稚園は、当時の船場北部町会の町民たちにより、明治13年(1880)に創立されました。明治34年(1901)に竣工した現園舎は3代目で、戦後100年以上経ってもなお現役の日本最古の木造園舎です。



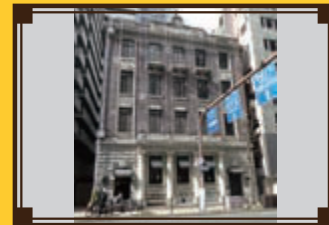
**綿業会館**  
中央区備後町 2-5-8

1932(昭和7)年の元日に開館、設計は大阪の代表的建築家・渡辺節。外観はアメリカのオフィスビル風ですが、内部は室毎に異なるスタイルで装飾されています。ジャコビアン様式(イギリスの初期ルネサンス風)と言われる2階談話室は全室中最も豪華な部屋で、映画やドラマの撮影などにもよく使われます。



**旧大阪教育生命保険ビル  
(高麗橋ビルディング)**  
中央区高麗橋 2-6-4

巨匠・辰野金吾(1854-1919)設計による赤レンガが特徴のレトロ建築です。1912(大正1)年竣工。レストラン・結婚式場「オペラ・ドメーヌ高麗橋」として再生しています。



**新井ビル**  
中央区今橋 2-1-1

1922(大正11)年、河合浩蔵の設計により大日本報徳銀行大阪支店として建てられ、のちに新井証券を経て新井ビルとなりました。戦後にテナントビルとなり、2005年にスイーツの「五感」がオープンしました。



**三井住友銀行大阪中央支店**  
中央区高麗橋 1-8-1

1936(昭和11)年に建てられた古典主義建築の集大成のような建物。正面のイオニア式のジャイアントオーダーなど、銀行建築らしい重厚で格式のある様式になっています。曾禰中條建築事務所の最後の作品でもあります。



**福原ビル**  
中央区北浜東 6-14

1930(昭和5)年竣工の、旧国光生命保険相互会社大阪支店ビル(設計:久野節)。敷地の形状に合わせ、中之島に向かってアール部分を突き出して、東側が徐々に広がる面白い意匠の建物です。



**北浜レトロ**  
中央区北浜 1-1-26

もともと証券の仲買業者の社屋として明治45年(1912)に竣工した建物は、英国のグラスゴー派の影響を受けています。現在は人気のカフェ(紅茶専門店)になっています。



**船場ビルディング**  
中央区淡路町 2-5-8

1925(大正14)年竣工、設計は村上徹一。大正時代の鉄筋コンクリート造中層都市住宅兼事務所ビル。内部中央に木レンガを敷き詰めた細長いパティオ風の中庭を設けて吹き抜けとし、その周囲各階に回廊を巡らす特色ある造りです。



**青山ビル**  
中央区伏見町 2-2-6

西園寺公望の渡政に同行した野田源次郎が、その時の見聞をもとに1921(大正10)年に建てたスパニッシュスタイルの個人邸宅で、外壁を覆う鶯は甲子園球場より株分けされたものです。



**難波橋 (ライオン橋)**  
中央区北浜 1.2丁目

元をたどると704年ごろに行基によって架けられたといわれています。橋詰の4ヶ所に、阿(あ)と吽(うん)それぞれ2体の石造のライオン像が配置されていることから、「ライオン橋」の愛称でも親しまれています。

参考 大阪観光局・大阪文化財ナビ・nakanoshima-style・HeT 大阪建築 website